

型名	100V	PS30210 2灯用 PS30410 4灯用	200V	PS30220 2灯用 PS30420 4灯用
----	------	----------------------------	------	----------------------------

このたびは電撃殺虫器インセクト・キールをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前に、電撃殺虫器を正しく安全にご使用いただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
 【取扱説明書・本体表示ラベルには、人身事故や物的損害を未然に防ぎ、本品を安全にご使用いただくために、重要な内容を記載しています】

安全のため必ずお守りください

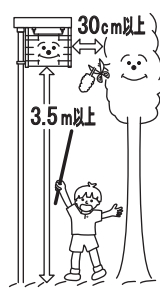
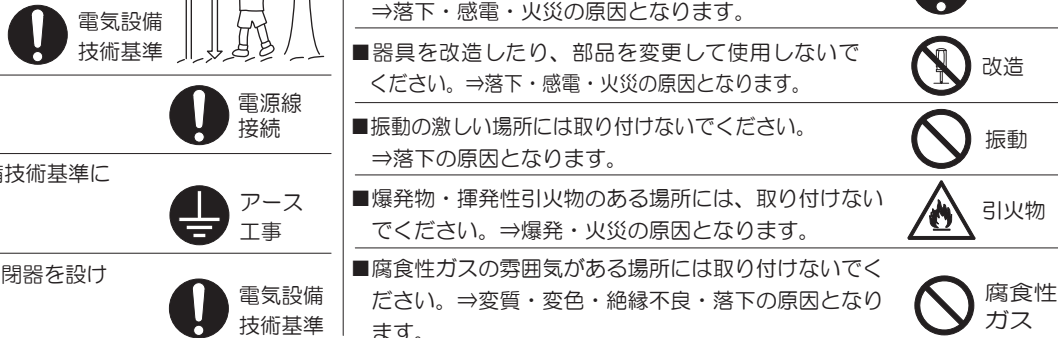
【器具の施工は電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店にご依頼ください】

工事店様へ **施工上のご注意** 【工事が終わりましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください】

警告

【誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの事故に結びつく可能性のあるものを示しています】



- 地上・床面上から3.5m以上の高さに取り付けてください。また、樹木・工作物から30cm以上離してください。
 ⇒感電・変質・変色・火災の原因となります。
- 器具の取り付けは、強風に耐える地盤のしっかりした場所に「器具の取り付けかた」に従って行ってください。
 ⇒落下・感電・火災の原因となります。
- 決められた取り付けかた以外は絶対にしないでください。吊り下げたり、床や台の上で使用しないでください。
 ⇒落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。⇒落下・感電・火災の原因となります。
- 振動の激しい場所には取り付けしないでください。
 ⇒落下の原因となります。
- 爆発物・揮発性引火物のある場所には、取り付けしないでください。⇒爆発・火災の原因となります。
- 腐食性ガスの雰囲気がある場所には取り付けしないでください。⇒変質・変色・絶縁不良・落下の原因となります。
- 電源線接続は確実に行ってください。
 ⇒発熱・火災の原因となります。
- 【D種接地工事】アース工事は電気設備技術基準に従い、確実に行ってください。
 ⇒感電の原因となります。
- 容易に開閉できる場所に、必ず専用の開閉器を設けてください。

注意

【誤った取り扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるものを示しています】

- この器具は周囲温度が5℃～35℃の範囲でご使用ください。
 ⇒絶縁不良・感電の原因となります。
- この器具の定格電圧は器種によって、100V±6%・200V±6%となります。器具を取り付ける前に確認してください。
 ⇒ランプ・安定器の寿命が短くなったり、火災の原因となります。

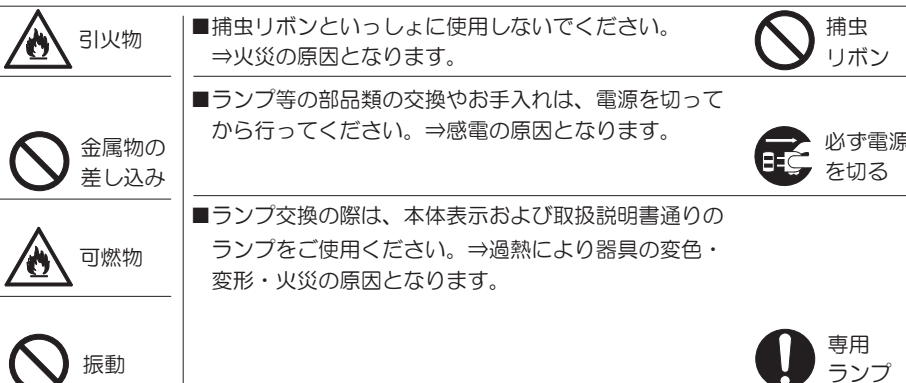



お客様へ **使用上のご注意** 【いつでもご覧になれるところに、大切に保管してください】

警告


【誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの事故に結びつく可能性のあるものを示しています】

- 殺虫剤・スプレー等、引火物の噴霧はしないでください。
 ⇒爆発・火災の原因となります。
- 金属棒等で電撃格子を絶対にさわらないでください。また器具のすきま・穴等に金属物を差し込まないでください。⇒感電・火災・故障の原因となります。
- ランプや器具を布・紙等の可燃物で覆ったり、かぶせたり、燃えやすい物を近づけないでください。
 ⇒火災の原因となります。
- 器具に飛びついたり、揺らしたりしないでください。
 ⇒器具の落下・ケガの原因となります。
- 捕虫リボンといっしょに使用しないでください。
 ⇒火災の原因となります。
- ランプ等の部品類の交換やお手入れは、電源を切ってから行ってください。⇒感電の原因となります。
- ランプ交換の際は、本体表示および取扱説明書通りのランプをご使用ください。⇒過熱により器具の変色・変形・火災の原因となります。



お願い

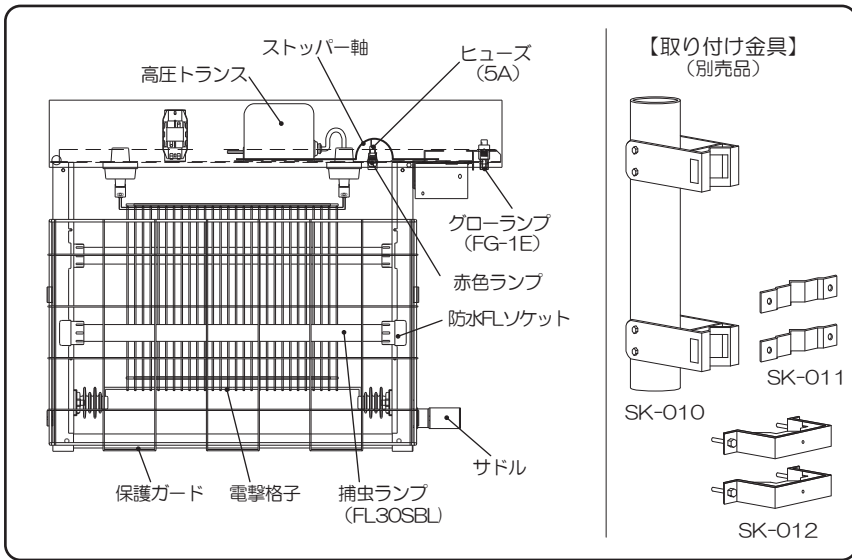
- 雷が近づいているときは、専用開閉器を切ってください。⇒故障の原因となります。



【シンボルマークのご説明】

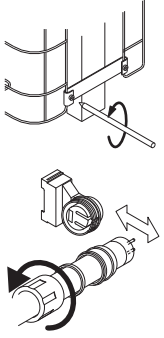
必ず行う事項
 必ず電源を切る
 必ずアース線の接続を行う
 一般的な禁止事項
 改造・分解の禁止
 発火注意
 一般的な注意事項

各部のなまえ



器具の取り扱いかた

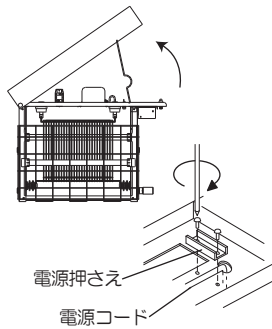
- ①専用開閉器を入（ON）にしてください。赤色ランプと捕虫ランプが点灯し、電撃格子に高電圧が流れます。
 - ②ランプ交換や保守点検の際は、必ず電源を切り、保護ガードを開いてから行ってください。保護ガードを取り付けている4個のねじの内、片側の上・下2個のねじを外しますと、保護ガードが開きます。
 - ③ランプ交換は、左右のキャップを左に回して、ランプを水平方向に移動して外してください。取り付けは、新しいランプにキャップ・リング・防水バックシンの順に入れて、水平方向よりソケットに挿入してください。この際、「カチッ」と音がするのを確認してください。
- ※ランプ交換の際は必ず捕虫ランプをご使用ください。一般の蛍光ランプには誘虫効果はありません。尚、殺菌用ランプのご使用は絶対にしないでください。部品の劣化や、人体に影響を及ぼす恐れがあります。



器具の取り付けかた

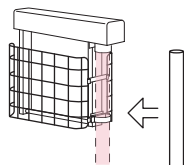
【結線のしかた】

- ①カバー開閉用ねじをゆるめ、カバーを持ち上げ、ストッパー軸でカバーを持ち上げた状態にしてください。
- ②電源コードを電源押さえで固定し、電源コードと器具内の電源線を、絶縁被覆付接続等で接続してください。
- ③アース端子にアース線を必ず接続してください。
- ④結線が終わりましたら、カバーを元のとおりに戻し、ねじで確実に締め付けてください。締め付けが不十分ですと風で開くことがあります。



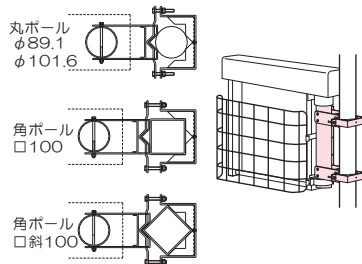
【ポールヘッドに取り付けの場合】

- ①器具をそのままポールに取り付け、ボルトを締めて固定してください。



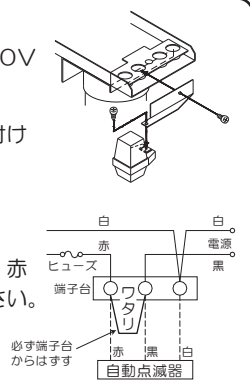
【丸・角ポール側に取り付けの場合】

- 丸ポール (φ89.1・φ101.6)
角ポール (□100・□斜100)
- ①取付金具『SK-O10』の上下の穴に取付金具『SK-O11』(2ヶ)を差し込んでください。
 - ②丸または角ポールを取付金具『SK-O12』(2ヶ)ではさみ、向きを決めて付属のボルトで固定してください。
 - ③本体を取付金具『SK-O10』に取り付け、ボルトを締めて固定してください。



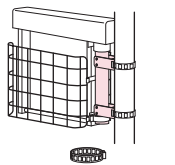
【点滅器の取り付けかた】

- ①点滅器をご使用の場合は、100Vまたは200Vの専用点滅器が必要になります。
- ②点滅器を図のように、点滅器取付板に取り付けて本体に固定してください。
- ③端子台のワタリ線を必ず外してください。
- ④点滅器の白・黒・赤の線と電源線の白・黒・赤の線が同じ線になるように結線をしてください。



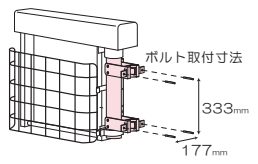
【コンクリート柱側に取り付けの場合】

- ①取付金具『SK-O10』をバンド(別売)でコンクリート柱に取り付けてください。
- ②本体を取付金具『SK-O10』に取り付け、ボルトを締めて固定してください。



【壁に取り付けの場合】

- ①取付金具『SK-O10』の上下の穴に取付金具『SK-O11』(2ヶ)を差し込んでから壁に取り付けられたボルトに『SK-O10・O11』を固定してください。
- ②本体を壁に固定した取付金具『SK-O10』に取り付け、ボルトを締めて固定してください。



お手入れのしかた

【必ず電源を切ってください】

- ランプや碍子、電撃格子に塵埃・虫が付着しますと、殺虫器本来の性能が低下します。乾いた布で清掃してください。
- 器具のよごれは、乾いたやわらかい布、または水・中性洗剤を含ませたやわらかい布をよく絞り清掃してください。
 - ※清掃時に、ガソリン・シンナー等の薬品は絶対に使用しないでください。
 - ⇒変色・変形・火災の原因となります。
- 器具の水洗いは絶対にしないでください。
 - ⇒感電・故障の原因となります。
- ソケットの樹脂部には、水・洗剤・薬品等は使用しないでください。⇒部品の劣化・感電の原因となります。



器具について

- 器具には寿命があります。設置後10年たちますと、外観に異常がなくても、内部部品等の劣化は進行しています。器具の点検、または交換をしてください。
- この器具の寿命の目安は、1日10時間使用で約10年です。
- 捕虫ランプの寿命(近紫外光が出力される時間)は5,000時間です。ランプが点灯していても寿命を過ぎたランプからは、捕虫に有効な近紫外光が出力されなくなり、捕虫効果が低下します。一般的なご使用の場合1~2年での交換をお勧めします。また、グローランプはランプ交換3回に一度の割合で交換してください。

修理のお願い

- 定期的に工事店等の専門家による、点検を行ってください。
- ご使用中に異常が生じたときは、ご使用になるのをやめ、電源プラグを抜き、販売店・工事店にご相談ください。

